### 7点からなる極大平面 的グラフの、それぞれ が6点からなる3つの 木への分解

高橋研究室 2281175 坂巻 李空

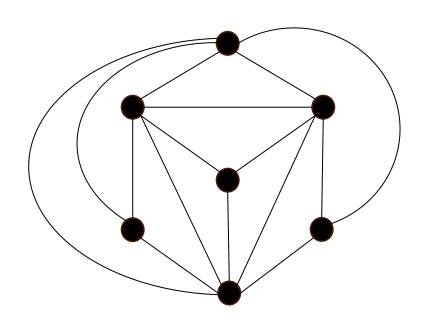
#### 目的

•n個の点と、m = 3n - 6 個の辺からなる極大平面的グラフを、n - 2 本の辺からなる3つの任意の木に分解することは、可能であったり不可能であったりする。

- 分解可能な組合せの場合、分解方法は1通りとは限らない
  - ▶多様な分解方法を見つけることが可能
- ●分解不可能な組合せの場合、どれだけ試行錯誤しても答は見つからない。
  - ▶このとき、どこかで「不可能ではないか」と判断する能力(判断力)や「なぜ不可能なのか」という理由を考える能力(思考力)が必要になる。

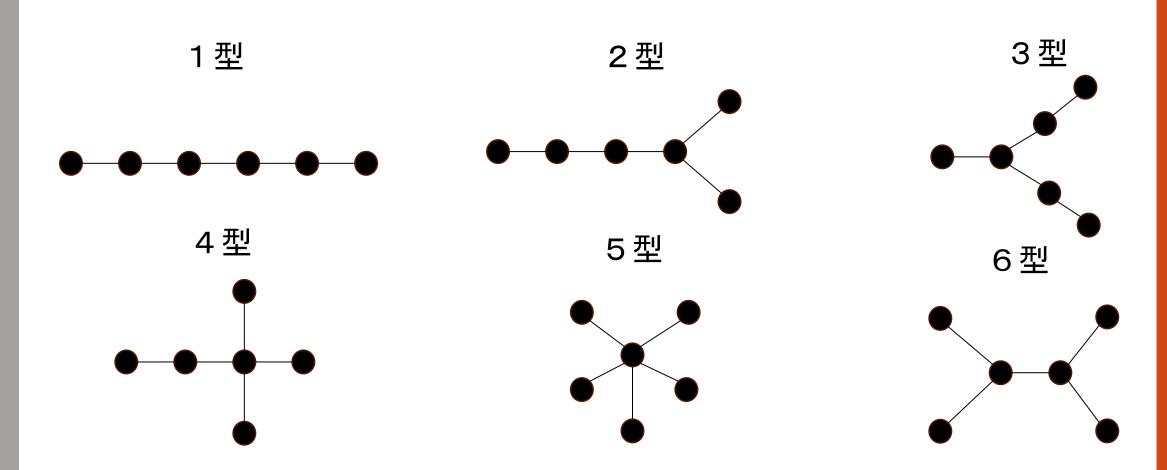
#### 目的

- ・本卒業研究では、n=7について、ある種の極大平面的グラフと5本の辺からなる同型でない6種類の木(文献[1]より)について、1つでも多くのケースについて、分解可能ならば例を示し、不可能ならばその理由を求めることを行い、それらを通して論理的思考能力を養う。
- 今回研究対象とした極大平面的グラフを以下に示す。



### 目的

・また、5本の辺からなる同型でない6種類の木を以下に示す。



#### 研究概要

・分解方法の「3つの1型への分解」~「3つの6型への分解」は以下の表 1 のように56通りある。

No	3つの木の型			No	3つの木の型			No	3つの木の型		型
1	1型	1型	1型	2	1型	1型	2型	3	1型	1型	3型
4	1型	1型	4型	5	1型	1型	5型	6	1型	1型	6型
7	1型	2型	2型	8	1型	2型	3型	9	1型	2型	4型
10	1型	2型	5型	11	1型	2型	6型	12	1型	3型	3型
13	1型	3型	4型	14	1型	3型	5型	15	1型	3型	6型
16	1型	4型	4型	17	1型	4型	5型	18	1型	4型	6型
19	1型	5型	5型	20	1型	5型	6型	21	1型	6型	6型
22	2型	2型	2型	23	2型	2型	3型	24	2型	2型	4型
25	2型	2型	5型	26	2型	2型	6型	27	2型	3型	3型
28	2型	3型	4型	29	2型	3型	5型	30	2型	3型	6型
31	2型	4型	4型	32	2型	4型	5型	33	2型	4型	6型
34	2型	5型	5型	35	2型	5型	6型	36	2型	6型	6型
37	3型	3型	3型	38	3型	3型	4型	39	3型	3型	5型
40	3型	3型	6型	41	3型	4型	4型	42	3型	4型	5型
43	3型	4型	6型	44	3型	5型	5型	45	3型	5型	6型
46	3型	6型	6型	47	4型	4型	4型	48	4型	4型	5型
49	4型	4型	6型	50	4型	5型	5型	51	4型	5型	6型
52	4型	6型	6型	53	5型	5型	5型	54	5型	5型	6型
55	5型	6型	6型	56	6型	6型	6型				

表 1 分解方法一覧表

#### 研究結果

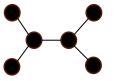
- 分解ができることが分かったのは、以下の表2の背景が黄色の部分である。
- また、分解できないことが分かったのは、背景が赤色の部分である。

No	3つの木の型		No	3つの木の型			No	3つの木の型			
1	1型	1型	1型	2	1型	1型	2型	3	1型	1型	3型
4	1型	1型	4型	5	1型	1型	5型	6	1型	1型	6型
7	1型	2型	2型	8	1型	2型	3型	9	1型	2型	4型
10	1型	2型	5型	11	1型	2型	6型	12	1型	3型	3型
13	1型	3型	4型	14	1型	3型	5型	15	1型	3型	6型
16	1型	4型	4型	17	1型	4型	5型	18	1型	4型	6型
19	1型	5型	5型	20	1型	5型	6型	21	1型	6型	6型
22	2型	2型	2型	23	2型	2型	3型	24	2型	2型	4型
25	2型	2型	5型	26	2型	2型	6型	27	2型	3型	3型
28	2型	3型	4型	29	2型	3型	5型	30	2型	3型	6型
31	2型	4型	4型	32	2型	4型	5型	33	2型	4型	6型
34	2型	5型	5型	35	2型	5型	6型	36	2型	6型	6型
37	3型	3型	3型	38	3型	3型	4型	39	3型	3型	5型
40	3型	3型	6型	41	3型	4型	4型	42	3型	4型	5型
43	3型	4型	6型	44	3型	5型	5型	45	3型	5型	6型
46	3型	6型	6型	47	4型	4型	4型	48	4型	4型	5型
49	4型	4型	6型	50	4型	5型	5型	51	4型	5型	6型
52	4型	6型	6型	53	5型	5型	5型	54	5型	5型	6型
55	5型	6型	6型	56	6型	6型	6型				

表 2 研究結果

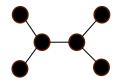
• 1型、1型、6型で分解

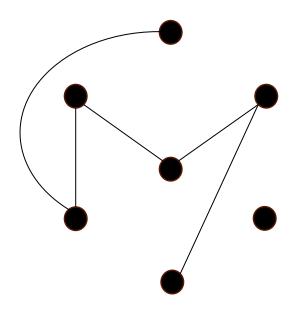
 $\bullet \bullet \bullet \bullet \bullet$ 



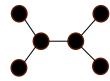
•

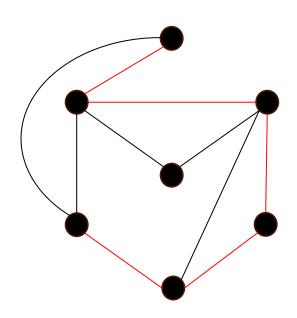
• 1型、1型、6型で分解



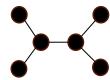


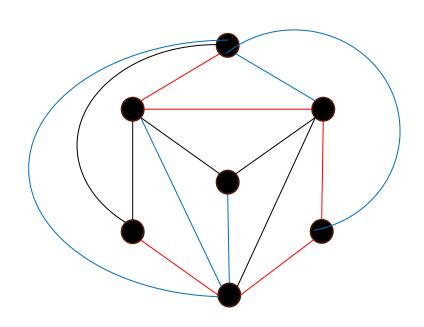
• 1型、1型、6型で分解

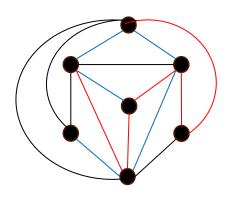




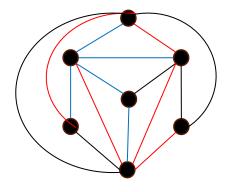
• 1型、1型、6型で分解



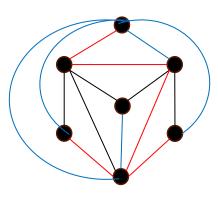




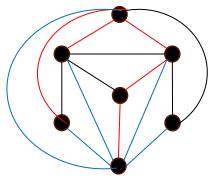
1型、1型、1型



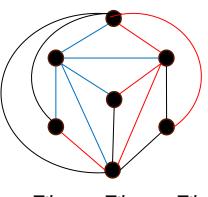
1型、2型、4型



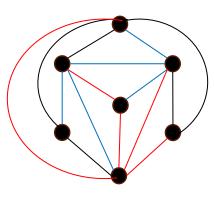
2型、2型、4型



2型、2型、5型

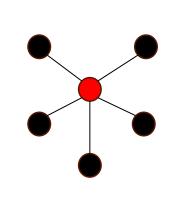


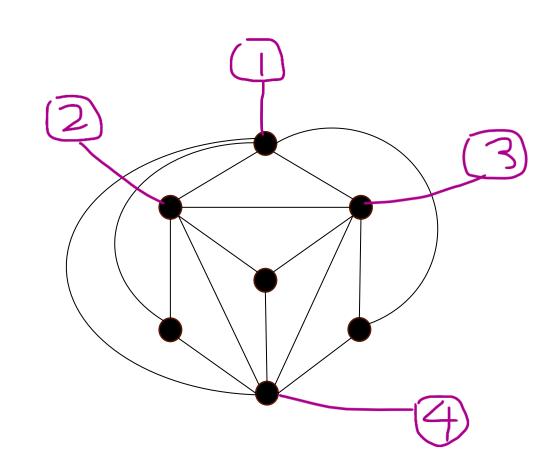
3型、3型、5型



3型、4型、6型

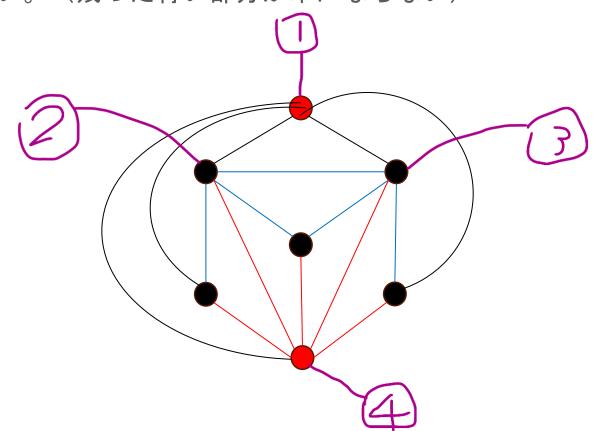
5型の赤色のノードが置くことができるのは①、②、③、④の4点である。





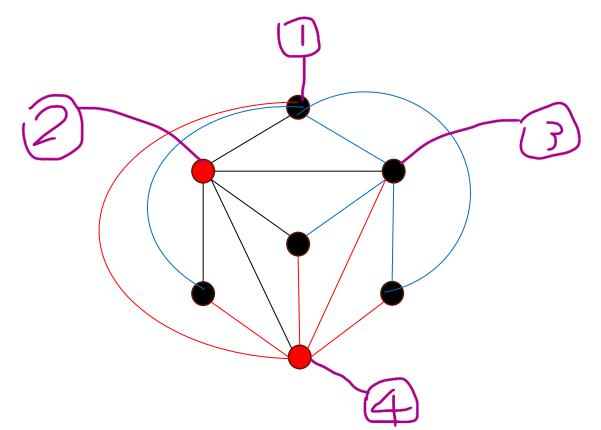
・(I)①に置いた場合、

もう一つは②、③に置くことができない。④に置いたら図のようになり、 分解できない。(残った青い部分が木にならない)



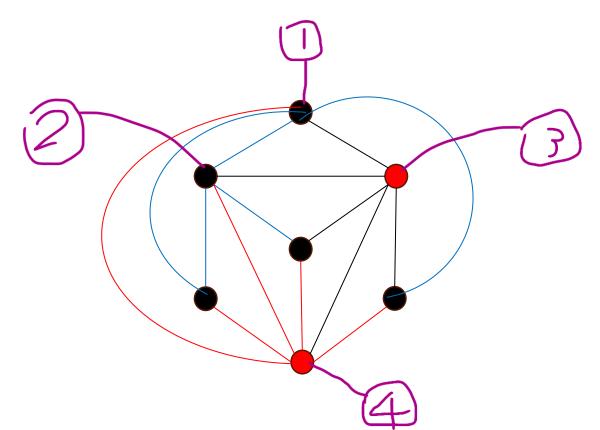
・(Ⅱ)②に置いた場合、

もう一つは①、③に置くことができない。④に置いたら図のようになり、 分解できない。(残った青い部分が木にならない)

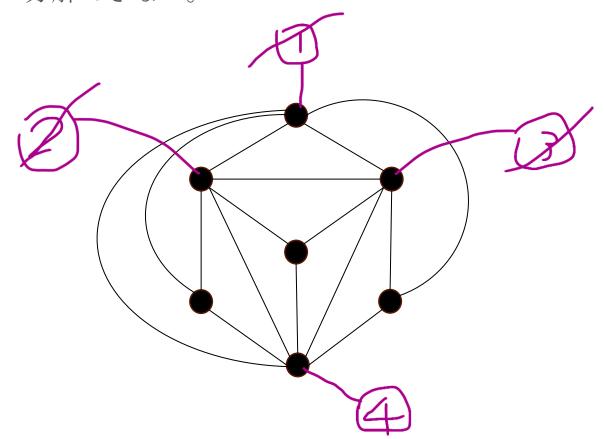


・(Ⅲ)③に置いた場合、

もう一つは①、②に置くことができない。④に置いたら図のようになり、分解できない。(残った青い部分が木にならない)



・これ以上2つの赤色のノードがおくことができなくなったので、5型、 5型、○型に分解できない。



#### 結論

- ・本卒研で得られた結果は前出の表2の背景がついている部分である。黄色の部分はいずれも分解可能な部分である。また、赤色の部分は分解不可能な部分である。
- ・ 半面、背景が白色の部分はもっと試行錯誤すればみつかったのか、最初から分解不可能な組合せ だったのかの判別すらできなかった。

No	3つの木の型			No	3 ~	つの木の	)型	No	3つの木の型		)型
1	1型	1型	1型	2	1型	1型	2型	3	1型	1型	3型
4	1型	1型	4型	5	1型	1型	5型	6	1型	1型	6型
7	1型	2型	2型	8	1型	2型	3型	9	1型	2型	4型
10	1型	2型	5型	11	1型	2型	6型	12	1型	3型	3型
13	1型	3型	4型	14	1型	3型	5型	15	1型	3型	6型
16	1型	4型	4型	17	1型	4型	5型	18	1型	4型	6型
19	1型	5型	5型	20	1型	5型	6型	21	1型	6型	6型
22	2型	2型	2型	23	2型	2型	3型	24	2型	2型	4型
25	2型	2型	5型	26	2型	2型	6型	27	2型	3型	3型
28	2型	3型	4型	29	2型	3型	5型	30	2型	3型	6型
31	2型	4型	4型	32	2型	4型	5型	33	2型	4型	6型
34	2型	5型	5型	35	2型	5型	6型	36	2型	6型	6型
37	3型	3型	3型	38	3型	3型	4型	39	3型	3型	5型
40	3型	3型	6型	41	3型	4型	4型	42	3型	4型	5型
43	3型	4型	6型	44	3型	5型	5型	45	3型	5型	6型
46	3型	6型	6型	47	4型	4型	4型	48	4型	4型	5型
49	4型	4型	6型	50	4型	5型	5型	51	4型	5型	6型
52	4型	6型	6型	53	5型	5型	5型	54	5型	5型	6型
55	5型	6型	6型	56	6型	6型	6型				

表 2 研究結果(再録)

### 参考文献

•[1] フランク・ハラリイ著(池田貞雄訳):「グラフ理論」, 共立出版, (1971, 7)